

町民の声



下野明地区の
明日を語る会代表

柴田 幸雄 さん
(中下・70歳)

吉村知事と 来たり、行ったり

5月9日、知事のほのぼの訪問の第1回目に私たち、下野明地区の明日を語るお茶の会（通称「八の会」毎月8の日が定例会のため）に来て下さった。下野明地区に県知事が来ることは始めてのことで、30名の会員が参加し、私たちの活動報告やこれからの楽しい生き方などについて、知事と楽しい交流ができた。

その時知事から「県庁にも遊びに来てよ」との言葉を頂き、さつそく6月15日、県庁へ行って知事を表敬訪問。議事堂視察や県庁食堂での昼食と、楽しく一日を過ごしてきた。

一人一人が主役！主役でいるために！「八の会」は60歳以上が入会でき、会員数は、約60名。通常は20から30名が参加して、金山いいとこさがし、健康講座、バーベキュー、芋煮会、米の娘ぶた餃子などの食事会などの活動を

して、「一人一人が主役で、いつまでも主役でいよう」を合言葉にしている。声掛けする 相手のいいところ探し 今しかないよ」の心持ちでの活動で、9年目になる。

協力者やリーダーの育成が課題

楽しく会を進めるにも課題もあり、毎月のテーマは「予算は」、「現役世代との連携は」、「地域貢献は」、「行政各機関の協力体制は」、そして、「協力者やリーダーの育成は」、などである。

行政や議会としても、大きく変わろうとする地域への支援の在り方を、地域の特色に合わせた対応も考えていく時ではないだろうか。

吉村知事訪問の最後に

「金山町は3世代同居率が全国で一番高い町。健康で、地域の方でいい地域にして欲しい」との言葉を頂いた。



県議会・議場見学（傍聴席）

議会豆知識 No.9

● 表決について

表決は、議会の意思を決定するため、議長の要求によって出席議員が問題に対して、「賛成」または「反対」の意思を表明することをいい、住民の代表たる議員にとって最も重要な権限の一つです。

議員は、平等にそれぞれ1個の表決権を持っていますが、表決の際に議場にいない議員は表決に加わることができないだけでなく、代理表決も認められていません。

過半数で議決すべき場合、議長は議員として表決に加わる権利を有していませんが、可否同数の場合に限り採決権を行使し、いずれかに決することになります。

表決の方法は、起立表決が原則とされていますが、他に記名投票または無記名投票やいわゆる挙手による簡易表決があります。

ギンコラム No.3

この度、九州北部で記録的な豪雨によって甚大な被害をもたらした。このような大雨は記憶の無いとのことである。

地震に続き、この度の豪雨により被害に遭われた方々にお見舞いを申しあげます。

いつ災害が起きても対応できるように、災害対策基本法に基づき全国の都道府県や各市町村で地域防災計画が作られた。

この金山町でも、いつ災害が起これるか予測もできない。

だからこそ、町民の方々から毎日変化する地域の現状等を聞き地域防災計画を見直し、町民の方々が、安心してこれからも住み続けたい町でありたい。

（文責 寒河江 宏一）

発行責任者

■ 議会議長 柴田 清正

議会広報常任委員会

■ 委員長 沼澤 道也
■ 副委員長 中村 忠行
■ 委員 高橋 芳夫
■ 委員 高橋 浩樹
■ 委員 早坂 憲明

9月議会定例会は9月7日(木)～14日(木)の予定です
町民の皆様のお待ちをしています